様式1

令和５年度　学校評価表

学校教育目標	感性豊かに　しなやかに　たくましく生き抜く人間の育成　～未来を拓く基盤をつくる～

a　ミッション	「オール浦崎」で取り組む　キャリア教育の充実による　主体的な学びの実現	a　ビジョン	生徒が自信と誇りを持って活動し、地域や保護者から信頼される学校をつくる

尾道市立浦崎中学校

評価計画						自己評価					学校関係者評価				改善計画
	b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月 g 達成値	1月 g 達成値	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価 イ	ロ	ハ	l コメント	m 改善案
夢と志を抱き　グローバル社会を生き抜く児童・生徒の育成	主体性を持ち、知・徳・体の調和とれた児童・生徒を育成する	主体的に学ぶ力の育成	基礎的・基本的学力の定着を図り、児童・生徒が自ら課題解決する力を育成する【主体的に学ぶ力】 ・学習ドリルの積み上げ ・探究的な学習の創造	・自ら学習に取り組んでいるという生徒の割合（昨年度：70%） ・総合的な学習の時間で、自分で課題を立てて情報を集め整理して、活動に取り組んでいるという生徒の割合（昨年度：76%） ・教職員が教科と総合的な学習の時間の横断的な学びで、基礎学力の定着と向上を図っている割合 ・3年生定期試験の５教科の合計点150点以下の割合 ・１、２年生標準学力調査の割合	75% 80% 75% 3割以下 全国比＋2P										
			授業改善を通して思考力・表現力の育成を図る【思考力・表現力】 ・対話的な学び ・表現活動の充実 ・振り返りの活用	・授業では、情報を比べたり（比較）、仲間分けしたり（分類）、関係を見つけたり（関係づけ）して、課題に取り組めているという生徒の割合（昨年度：68%） ・授業で、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝わるように発表を工夫しているという生徒の割合（昨年度：70%） ・生徒の振り返りを基に生徒の主体的な学びの実現を図る教職員の割合	75% 80% 75%										
		自己肯定感の向上	前向きに取り組むことができる自己コントロール力をつける【かかわる力】 ・自治活動	・自己肯定感に関する問いに肯定的に答えている生徒の割合（昨年度：78%） ・集団の中で安心して生活できるという生徒の割合（昨年度：94%） ・仲間と共に自治活動をやりきることができたと肯定的に答えている生徒の割合 ・生徒の協働した自治活動を支援し、達成感をもった教職員の割合	80% 100% 80% 100%										
			特別活動や行事、園小中連携、地域の人との関わりを通して、互いに関わり合う集団・個人を育てる【かかわる力】 ・地域の力と協働した授業	・地域貢献に関する問いに肯定的に答えている生徒の割合（昨年度：71%） ・こども園や小学校の児童と関わることで新たな学びに気付きがあった生徒の割合 ・ゲストティーチャーを招き、地域と関わり合いながら授業を行った回数	80% 80% 年間10回										

【自己評価　評価】
A：100≦（目標達成）　B：80≦（ほぼ達成）＜100
C：60≦（もう少し）＜80　D：（できていない）＜60

【外部評価】　イ：自己評価は適正である。ロ：自己評価は適正でない。　ハ：わからない。